

甲府市 農業委員会だより

発行 甲府市農業委員会
住所 〒400-8585
山梨県甲府市丸の内一丁目18番1号
電話 055-237-1161(内線7344)
055-237-5892(直通)
編集 甲府市農業委員会だより
編集委員会



野菜ソムリエ



七覚むらづくり協議会（蕎麦の実収穫）

— おもな内容 —

ページ

- 改正農業委員会法 2
- 農業委員会活動報告他 3
- 農政情報コーナー（中北地域普及センター）..... 4
- 農感記第32集 5
- 甲府市賃借料情報他 6

第67号

改正農業委員会法について

平成28年4月1日から改正農業委員会法が施行されます
施行後の主な改正点についてお知らせします

1 農地等の利用の最適化の推進

農業経営の規模の拡大
耕作に供される農地の
集団化

↓
担い手への農地利用の
集積の推進

農地等として利用すべ
き土地の農業上の利用
の確保

↓
耕作放棄地の発生防止
解消の推進

新たに農業経営を営
もうとする者の参入
の促進

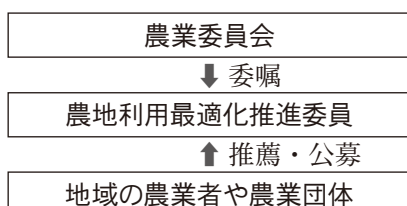
↓
新規就農、企業等の
農業参入の支援

2 農地利用最適化推進委員の設置

農業委員会が委嘱します

農業委員会は、農地等の利用の最適化の推進に取り組む体制を強化するため、地域の農業者等から候補者の推薦を求め、農地利用最適化推進委員を委嘱します。

農地利用最適化推進委員の選任方法の流れ



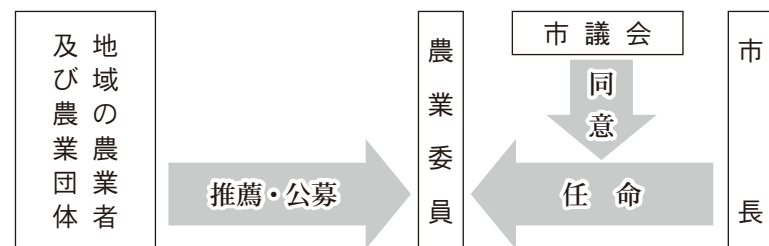
3 農業委員の選出方法の変更

① 公選制から地域推薦・公募に

② 認定農業者を過半に・利害関係者以外も登用

③ 年齢・性別に著しい偏りがない登用促進

農業委員の選任方法の流れ



4 農業委員と農地利用最適化推進委員の活動と連携

農業委員の役割

農業委員は、合議体として最終的な意思決定を行ないます。また、農地利用最適化推進委員と連携し、農地等の利用の最適化を推進します。

連携

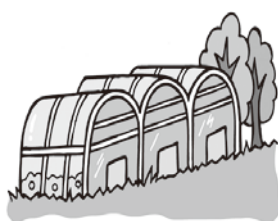
最適化推進委員の役割

最適化推進委員は、担当区域において、担い手の農地集積化耕作放棄地の防止・解消など、農地等の利用の最適化の推進のための活動を行います。

最適化推進委員は農業委員会の求めに応じ報告・意見を述べます。

5 農地制度も改正されます

- ① 農業生産法人から農地所有資格法人へ
- ・ 法律上の名称を農地所有資格法人に変更します
- ・ 構成員に占める農業者以外の割合も議決権の二分の一未満まで認めます
- ・ 法人の理事等の要件も1人以上が農作業に常時従事すれば足りません



☆その他☆

甲府市農業委員につきましては任期満了である平成29年7月30日まで経過措置のため任期は継続いたします。

農業委員の選出については公募になるため選挙人名簿の登録申請書の提出は廃止になりました。

農業委員会活動報告

今年度・農業委員の活動

毎月の定例総会・農地調査・運営委員会・各地域ブロック会議・編集委員会などの各会議、農地利用集積業務（農地銀行）・農地利用状況調査・農地基本台帳補筆修正業務、各地域において農業に対する相談・手続業務、互助会総会、更には研修や行事が実施されました。

○5月28日（木）

東京都

全国農業委員会会長大会

○10月6日（火）7日（水）

笛吹市

山梨県市町村農業委員会

会長会議

○10月14日（水）

甲府市役所市長室

平成28年度甲府市への建議書提出

○11月3日（火）

小瀬スポーツ公園

第42回甲府市農林業まつり

○11月12日（木）

山梨県地場産業センター

地区別農業委員等研修会

○11月13日（金）

甲府市中道公民館

中道地区農地銀行推進員会議

○11月17日（火）

山梨県地場産業センター

県農政推進農業委員大会

○11月20日（金）

静岡県島田市

先進地視察研修

○12月10日（木）

南アルプス市

中北地域農地集積推進会議

○12月18日（金）

甲府市南公民館

中ブロック農地銀行推進員会議

○2月5日（金）

南アルプス市

ブロック別現地研修会

（北ブロック主催）

静岡県島田市視察研修

平成27年11月20日（金）
に島田市農業委員会への視

察研修を実施いたしました。

島田市農業委員会は昨年

5月に全国農業会議所と全

国農業新聞が主催する「第

7回耕作放棄地発生防止・

解消活動表彰」の農林水産

大臣賞を受賞しました。



静岡県島田市視察

耕作放棄地再生への取り組み活動については、農地相談員を設置し地区の状況に合わせ、新規就農者や農業参入法人の受け入れをはじめ、水田及び蕎麦体験農園、市民農園の設置、景観作物の栽培、担い手部会においては若手農業者が特産の茶園の区画整理を行うなど、多様な手法による再生、さらに発生抑制策を進めている各事例について研修をしてまいりました。

中ブロック農地銀行推進員 農業委員合同会議

平成27年12月18日（金）

に南公民館にて中ブロック農地銀行推進員・農業委員との合同会議を開催いたしました。

今回の会議には、中ブロックを拠点に営農を開始した新規就農者、及び営農に向けて準備中の新規就農予定者を招き、地区の農地銀行推進員・農業委員が農地の貸借について、更に営農の様々な方法について助言いたしました。参加者については地域農業従事者の核となることを願います。



合同会議の様子

新規就農者紹介 （中道地区）

アララ・シェーン様

国籍は米国ですが、日本生まれの日本育ちで39歳の男性です。



上曽根町の農地において
土づくりに励む 本人（右）

市川三郷町の農業生産法人で1年余り野菜の露地栽培の研修を受け、甲府市において新規就農を希望し白井町及び上曽根町に農地銀行制度を通して、就農することになりました。
今後は近隣の農家の経営を参考に堅実なる営農計画を立て、水稲・野菜農家として自立して行くことが期待されております。

普及センターコーナー

中北地域普及センター

(中北農務事務所 農業農村支援課) TEL 0551-23-3291

今年度の気象状況と

主なブドウの障害

今年度の栽培を振り返り、春から始まる新しい作に向けて、反省点を活かして頂きたいと思います。

今年度は、4月上中旬の低温・降雨により発芽が平年より4日遅れましたが、5月に入ると一転して高温乾燥となったことで、ジベレリン処理の効果が薄くなったことから、デラウエアを中心に有核の混入が問題になりました。

対策としては、春先の低温等により初期生育が劣る場合に十分な灌水とともに、速攻性の窒素肥料を施肥するなど、強めな樹勢を維持しましょう。また、第一回目ジベレリン処理には必ずアグレプト液剤を加用し、処理時期に乾燥する場合は圃場への灌水、棚散水を行

い、ジベレリンの吸収を促進します。また7月上旬～8月中旬まで昼夜とも高温が続く、例年では問題とならない巨峰でも着色不良が見られました。対策としては着粒が多く、大房になりやすい圃場では、房づくり・摘粒に留意し、目標の房の大きさに収めましょう。また、着房数が多い圃場では見直し摘房を行い収量調節を行いましょう。夜温を下げるために、着色期に夕方散水することも有効です。



着色不良房 (ピオーネ)

果樹の気象災害

対策マニュアル策定

県では、今年度のような異常気象と呼ばれるほど

の激しい天候の変化に対応するため、農家の皆さんが活用できる「果樹の気象災害対策マニュアル」を策定しました。県農業技術課のホームページよりダウンロードできますのでご覧ください。

<http://www.pref.yamanashi.jp/nougyo-gjt/index.html>

2015年農林業センサス

甲府市の概要

平成27年2月1日現在

甲府市の農業経営体数は、1195経営体で、平成22年と比べ186経営体(13.5%)減少しましたが、法人化している経営体は11経営体で22.2%増加しています。また、総農家数は2093戸で、307戸(12.8%)減少し、内、販売農家数は1115戸、自給的農家数は978戸となり、それぞれ13.6%・11.8%減少しました。平均年齢は68歳で1.6歳上昇し、高齢化が進んでいます。

農業経営体の経営耕地面積は、840haで9.9%減少していますが、1経営体当たりの耕地面積は0.71haと4.4%増

加しました。耕作放棄地面積は223haで12ha(5.7%)増加し、耕作放棄地が進んでおり、販売農家及び土地持ち非農家が所有する耕作放棄地の割合はそれぞれ8.1%・14.7%増加しましたが、自給的農家が所有する耕作地の割合は8.3%減少しました。

農産物認証制度制定

甲府市では、「甲府らしさ」を有する地域資源や、これを活用して生産された商品等を「甲府之証」として認証しており、これまでにクラフト系部門のジュエリーが認定品として好評を得ております。今回、新たに農林産物部門を設けることとし、農家の皆さんが丹精こめて作った優れた農産物を認証し、全国・世界に情報発信していきます。

認証の対象は、果樹・野菜・畜産物などに加え、これらのものを活用して農家が作った加工品等で、一定

の基準を満たした、優れた農産物・商品を認証します。認証の基準は、甲府市産で品質に優れ、安心安全な農産物であることなどで、次の「甲府らしさ」の5つのカテゴリーのいずれかに該当する必要があります。

特選：甲府の気候風土が育んだ特選農産物(品目・品種基準あり)
品種基準あり
巧：巧みな技が育んだ農産物(品目・品種基準あり)
伝承：甲府市で生まれた、又は固有の農産物
特産：市場評価が高い、又は物語性を持つ農産物
振興：地域振興の取り組みにより生まれた農産物
認定農産物には、次のようなロゴマークが使用されます。



図 農政課

TEL 298-4833

農感記 第三十二集

農業と趣味の古時計

荒川一丁目 五^ご時^み 一^{かずとよ}豊



私の居住する荒川一丁目は、甲府市の北西部に位置し甲斐市と隣接する地域になります。昭和二十年頃から三十年代頃までは見わたす限り水田が広がり、夏の夜にはホタルの乱舞が見られ、更にカエルの鳴き声も聞こえるようなのかな農村地帯でした。

当時の農業生産物については水稲・養蚕が主流であり畜産（乳牛）の飼育も行なわれていました。現在においては地域全体が市街化

区域ということもあります。が、農業者人口は減少しています。これまで農地であつた場所を居宅や駐車場などに転用される状況が増えるに従い、農作業においては周囲の住宅等に配慮しているのが現状です。



蔵に展示の古時計

このような中で何か趣味をと思い、日々の農作業の終了後や農閑期を利用して、十数年前より何か昔の物を大切に後世に残そうと思ひ、古時計の収集を始めました。現在においては明

治・大正・昭和の各時代において使用された古時計を敷地内にある築百年の蔵を改装して展示してあります。これからも健康維持の為に古時計の収集については、農業と同じく精力的に活動していきたいと思ひます。

我が家の経営

増坪町 萩原^{はぎはら} 一^{ひとし}斉



我が家の経営規模は地元所有耕作地74アール、北杜市に27アールの借地において、洋蘭を主に葡萄・切花・水稲などを行なっています。これまでの水稲、養蚕中心から花卉栽培・野菜（茄子・キュウリ）等の施設栽培さらにスモモや葡萄など時代の変化と共に作物の転換をしてきました。

私においては、高校卒業後市役所に就職（十一年前に早期退職）するとともに家業の農業に従事し農業経営は32年を経過しました

我が家の生産主体は洋蘭の栽培になります。施設栽培の洋蘭は苗を購入し、三年間肥培管理を行ない商品となります。出荷までには三回の鉢上げ、七月から十月にかけて北杜市にて山上げ（避暑）、肥培管理、降霜前に山下げしビニール被覆、慌しく十一月から十二月に出荷のピークを迎え、年明け早々から本年出荷株等の鉢間隔広げの移動や芽欠きの作業に追われます。

従って、我が家が農閑期となるのは二月中旬から三月末までの期間です。



シンビエンゼルチャーム

花卉栽培の生産農家の収益性は高くはありませんが、私の好きな洋蘭栽培を生業としていますので、花の美しさを生産者の任務としてその植物それぞれの持つ能力、生命力を最大限に発揮させ固有の花の美しさを最高に引き出す責務を信念に生産を行なっています。



シヨパンノシラベ

しかし近年では、世界的な景気低迷やTPPによる輸出入緩和などの経済状況の変化、更には地球温暖化と思われる異常気象による甚大な災害など、農業を取り巻く環境は大変厳しい状況ですが、『花は一つの嗜好品』出荷においては良品生産を心がけ、購入者に愛される洋蘭を健康である現在試行錯誤しながら、地域農業の活性化を含め頑張っていきたいと思ひます。

甲府市賃借料情報

(円/10a 当たり)

作物区分		甲府市平均	旧甲府市 (平坦地)	旧甲府市 (山間地)	旧中道町
水 稲	平均額	12,300	12,600	—	10,900
	最高額	22,600	22,600	—	13,600
	最低額	4,200	6,000	—	6,800
	データ数	178	151	—	20
野 菜	平均額	11,700	13,700	—	9,600
	最高額	20,000	22,600	—	15,400
	最低額	4,000	5,000	—	2,800
	データ数	179	104	—	68
果 樹	平均額	16,500	22,700	13,800	9,200
	最高額	30,000	35,600	22,300	17,100
	最低額	6,100	7,600	6,800	4,100
	データ数	199	92	83	29

農業委員会からの
お知らせ

☎ 237-5892

平成26年及び27年に締結された農地賃貸借契約における賃借料の水準額等は、左記のとおりです。賃貸借を行う際の参考にして下さい。

農業者年金は国民年金だけでは不十分な生活費を農業者が年金の形で受給できる制度になります。

☆加入者条件☆
・国民年金被保険者
・年60日以上の農業従事者
・20歳以上60歳未満の方

農業者年金へ

加入下さい



第42回甲府市農林業まつりにて表彰

野村 好則様
平成27年度の甲府市農業賞は上積翠寺町の野村好則様(91才)が表彰されました。上積翠寺町の洞地区という山間地での農業経営に養蜂を取り入れ、地域的ハンディを克服し、環境を活かした複合経営を確立いたしました。イチゴ栽培の花粉交配用ミツバチの供給や蜜源植物の普及導入に努められました。更に、山梨県養蜂協会の会長も歴任する中で、協会運営や若手養蜂家の指導育成等にもご尽力されました。

祝・甲府市農業賞

おめでとうございます

農業臨時雇賃金等

標準額について

平成28年度農業臨時雇賃金等標準額については、4月中に甲府市農協・笛吹農協、市関係機関の窓口配布いたします。

中山間地域等直接支払
制度が実施されています

農業・農村地域の水源涵養・洪水防止・土壌の侵食や崩壊の防止機能を重視し、耕作放棄地などの深刻な状況にある中山間地域での農業生産の維持を図り、多面的機能を確保する観点から実施されています。協定書提出期限は平成28年6月30日です。詳細は農政課へご連絡下さい。

平成27年度実績

協定名…平瀬町他6集落
協定参加者…102名
協定農用地…急・緩傾斜
協定面積…170283㎡
交付金額…224万3091円

農政課

TEL 298-4836

表紙写真の紹介

★野菜ソムリエ

甲府市と連携しながら農畜産物のPRのため『こうふるふぁーむ(甲府市野菜ソムリエプロジェクト)』20人(年代は20代〜50代・職業は様々)と協働で、市内イベントを中心に地産地消の推進・食育の活動等に務めてもらっています。

★蕎麦の実の収穫

七覚むらづくり協議会では、耕作放棄地対策として「蕎麦の実」を栽培しています。平成27年8月に住民総出で手蒔きした種が実を結び、11月に大型コンバインでの刈取りを行いました。昨年の手作業に比べ機械作業で効率的に行いました。

編集後記

編集委員の皆様、農感記への委員からのご寄稿、さらに関係機関として紙面・写真についてご協力下さいました皆様、誠にありがとうございました。